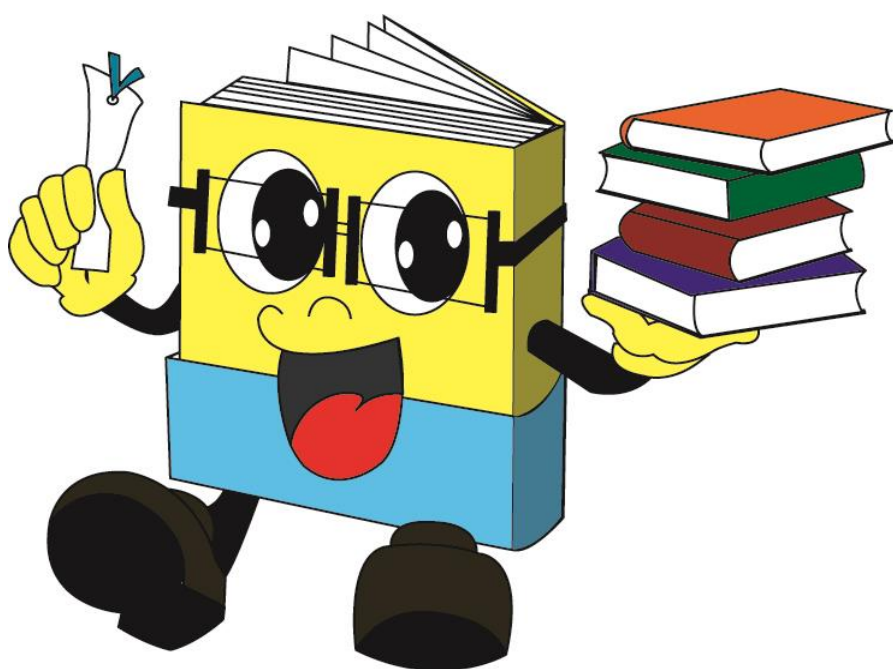


令和 7 年度

図書館要覧



四万十市読書活動推進キャラクター 「ぶっくん」



四万十市立図書館

Tel 0880-35-2923

四万十市立図書館

高知県四万十市中村大橋通 4 丁目 10

Tel 0880-35-2923 Fax 0880-35-2960

西土佐分館

高知県四万十市西土佐江川崎2445-2

Tel 0880-52-2888 Fax 0880-52-2888

目 次

I	利 用 案 内	1
II	図書館概要（組織・資料等の概要）	2
III	サービスの状況	3
IV	四万十市立図書館運営方針	7
V	令和7年度予算	9
VI	資 料	10
	図書館沿革	
	参考 図書館サービス実績（指標）	12

** 施設の概要 **

名 称	四万十市立図書館
所 在 地	四万十市中村大橋通4丁目10番地（市庁舎2階）
床 面 積	1,162.09㎡（2階部分）
建物構造	鉄筋コンクリート7階建
建 築	平成22年3月31日
設 備	冷暖房空調
閱 覧 室	50席
特 別 室	郷土資料展示室、レファレンス室、グループ学習室、多目的ホール、おはなしの部屋

名 称	四万十市立図書館 西土佐分館
所 在 地	四万十市西土佐江川崎2445番地2（西土佐総合支所1階）
床 面 積	175.15㎡（1階南側部分）
建物構造	鉄筋コンクリート2階建
建 築	平成26年3月31日
設 備	冷暖房空調
閱 覧 室	12席

I 利用案内

令和7年4月1日現在

- 1 開館時間 本館：9時～19時 / 分館：10時～18時
- 2 休館日 館内整理日(毎月最終金曜日)、蔵書点検日、年末年始(12月29日～1月3日)
- 3 利用案内
- * 利用は無料です。
 - * どなたでも閲覧できますが、館外に持ち出す場合には登録が必要です。
 - * 予約・リクエスト・読書相談・レファレンス・資料の複写(有料：著作権法の範囲で)にも応じています。
 - * パスワードの発行を受ければ、インターネットを介して予約ができます。
- 4 館外貸出
- * 登録が必要です。
 - ①四万十市に住んでいる方
 - ②四万十市に通勤、通学している方
 - ③四万十市の近隣市町村に住んでいる方(職員にお問い合わせください)

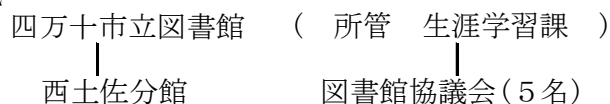
- 5 貸出限度冊数
(個人の場合)

メディア	貸出期間	貸出冊数(貸出券1枚)
① 本/紙芝居/絵本	2週間	10冊まで
② 雑誌		5冊まで
③ ビデオ/DVD/CD		2点まで

- * 原則、新聞/図鑑/事典等の館外貸出はできません。
(禁帯出シール付きのもの)
- 6 予約
- * 1人5冊まで貸出希望を受付けます。
(所定の用紙に記入をして下さい。)
- 7 リクエスト
- * 所蔵していない資料を購入します。もしくは他の図書館から借ります。
(所定の用紙に記入をして下さい。)
(内容の似た本があれば、購入をお断りすることがあります。)
- 8 団体貸出
- * 学校や保育園、職場や地域で利用を希望される方に貸出します。
(基本は1ヶ月間で100冊程度ですが、相談に応じます。)
- 9 レファレンス
- * いろいろな調べものをお手伝いします。簡単な質問には、その場で相談に応じます。内容によっては後日回答をさせていただくこともあります。
 - * 適当な資料を所蔵していない場合は、他の専門機関を紹介します。
 - * 特定の方に利益・不利益をもたらす質問には応じられません。
(クイズの答え、学校の課題・宿題、絵画・骨董の鑑定など)
 - * 医療・法律問題・先祖の調査については応じません。
- 10 その他
- * AVブース(本館：4席 分館1席)、インターネット接続端末(本館3台 分館3台)、拡大読書機(1台)
 - * 多目的ホール、グループ学習室
 - * 壁面展示スペース、郷土資料展示室、レファレンス室、おはなしの部屋など
 - * 公衆無線LAN(無料Wi-Fi)利用可能

Ⅱ 図書館概要

1 組織



2 名簿

(1) 生涯学習課 (R7. 4. 1現在)

職 名	氏 名	備 考
課 長	戸 田 裕 介	
課 長 補 佐	阿 部 一 仁	
社会教育振興係長	伊 豆 綾 人	
主 幹	清 水 美 保	
兼務)分 室 長	梶 原 秀 紀	
兼務) 係 長	稲 田 恭 子	

(2) 図書館職員(指定管理者 株式会社 図書館流通センター)

四万十市立図書館 本館 職員12名

館長(司書) 館長補佐(司書) スタッフ10名(うち司書6名)

四万十市立図書館 西土佐分館 職員5名

館長(本館兼務) 館長補佐 スタッフ4名

(3) 四万十市図書館協議会委員 (R5. 10. 1～R7. 9. 30)

職 位	氏 名	区 分
委 員 長	芝 正 司	学 識 経 験
副 委 員 長	岡 郁 美	学 識 経 験
委 員	酒 井 和 博	学 識 経 験
委 員	中 平 隆 善	家 庭 教 育
委 員	弘 田 華 愛	学 校 教 育

3 所蔵資料等 (本館・分館合算)

(R7. 3. 31現在)

蔵書総数 176,103 冊 (本館 157,707冊、分館 18,396冊)
 (開架冊数 98,649 冊)
 ・児童図書 48,014 冊
 ・郷土資料 16,180 冊

市民1人当り蔵書冊数 5.66 冊 (4月1日人口 31,106 人)

年間購入図書 4,130 冊 (受入数 4,743 冊)

雑誌購入数 171 誌 (受入数 183 誌)

新聞購入数 12 紙 (受入数 20 紙)

視聴覚資料

・ビデオテープ、DVD 1,358 本 ・紙芝居 656 組
 ・カセットブック 502 点 ・郷土関係写真 1,600 枚

4 貸出登録者数 4,387 人 (市外登録者 678 人)

5 年間開館日数 本館：342 日／分館：344日

Ⅲ サービスの状況

1 貸出

(1)	登録者数(登録更新者も含む)	(R4. 4. 1～R7. 3. 31) 人		
	本館	分館	合 計	
一 般	3,432	205	3,637	
中 学 生	132	14	146	
小 学 生	416	26	442	
幼 児	151	11	162	
合 計	4,131	256	4,387	
	*市外登録者			678 人

(2)	来館者数・貸出者数	(R6. 4. 1～R7. 3. 31) 人			
	来館者数		個人貸出者数		
	本館	分館	本館	分館	
一 般			26,527	2,039	
中 学 生			464	21	
小 学 生 以 下			3,944	346	
小 計	113,350	5,312	30,935	2,406	
合 計	118,662		33,341		

(3)	個人貸出数	(R6. 4. 1～R7. 3. 31) 点			
	図書雑誌類		視聴覚資料		
	本館	分館	本館	分館	
一 般 図 書	77,390	3,815			
児 童 書	39,077	3,402			
雑 誌	11,289	646			
小 計	127,756	7,863	3,358	682	
合 計	135,619		4,040		
	市民1人当たり資料貸出点数			4.49 点	139,659 点

2	団体貸出(巡回文庫含む)	(R6. 4. 1～R7. 3. 31) 点		
	貸出団体数	貸出回数	貸出冊数	
一 般 団 体 等	16	72	2,271	
一 般(団体文庫)	5	43	1,536	
保育所(巡回文庫)	19	245	6,475	
小学校(巡回文庫)	13	113	5,598	
中学校(巡回文庫)	3	8	175	
小学校学童保育	9	43	1,607	
合 計	65	524	17,662	

3 予 約

予約・リクエスト件数	計	6,030 件
(本館 5,317件 / 分館 713件)	うちネット予約	1,562件)
一般図書、児童図書		5,122 件
雑 誌		877 件
視聴覚資料		31 件

4 参考業務	計	2,133 件
--------	---	---------

5 相互貸借

・ 借受冊数	計	1,595 冊
高知県立図書館・高知市民図書館		1,408 冊
土佐清水市立市民図書館		5 冊
宿毛市坂本図書館		4 冊
その他の県内図書館		155 冊
県外図書館		23 冊

・貸出冊数	計	234 冊
県内図書館		232 冊
県外図書館		2 冊
6 資料複写（有料 白黒@10円 カラー@20円）		2,091 枚
7 継続事業の実施状況		
（１）本館		
① 企画展示（月間テーマ・随時）	一般・児童・ティーンズ・郷土 スタッフおすすめ等	
② 絵本の読み聞かせ	毎週日曜日 10:20～11:00	
開催回数		42 回
参加者		子ども 175人 大人 130人 読み聞かせボランティア登録者 9人
③ ブックスタート（10ヶ月健診時に実施）		
中村地域（毎月）	乳児	146 人
④ 巡回文庫	保育所・小中学校・地域	
⑤ 職場体験学習（キャリア体験事業）	中学生	8人(2校)
	特別支援学校	1人
⑥ 図書館見学	幼稚園	36人(1園)
	小学生	186人(5校)
	特別支援学校	4人
	発達支援センター	12人
⑦ こどもの読書週間行事	読書ラリー	
	4月24日（水）～	
⑧ 図書館だより	毎月発行	
こどもとしょかんだより	3か月毎	
ティーンズブックワーム		
⑨ 読み聞かせボランティア情報交換会・研修会	12月6日（金） 大人4人	
（２）西土佐分館		
① 企画展示（月間テーマ・随時）	一般・児童・スタッフおすすめ等	
② 絵本の読み聞かせ	毎週 水・土・日曜日	
開催回数		33回
参加者		子ども46人 大人 10人 読み聞かせボランティア登録者 3人
③ ブックスタート（乳児健診時に実施）		
西土佐地域(3か月に1回)	乳児	5人
④ 団体文庫サービス（配本サービス）	高齢者施設・障がい者施設・地域（6か所）	
⑤ 図書館見学及び職場体験	小学生（図書館見学会）	小学生18人（1校）
	中学生（職場体験学習）	中学生 1人（1校）
⑥ こどもの読書週間行事	子ども向け行事「春の日おはなし会」	
	4月20日（土）	
	子ども8人	
	大人 4人	
⑦ 分館だより	毎月発行	

8 自主事業の実施状況

(1) 児童へのサービス等 (本館)		実施日	参加人数	
① めいぐるみとしょかんおとまりかい	4月20日～21日 (土・日)	子ども 大人	6人 7人	
② 図書館×高知高専 「Scratchゲーム・AIプログラミング講座」	6月30日(日)	子ども 大人	13人 11人	
③ 夏のこわ～いおはなし会	8月4日(日)	子ども 大人	5人 10人	
④ 親子講座「親子de学ぼうさい」	8月17日(土)	子ども 大人	10人 8人	
⑤ 特別支援学校出張図書館	9月～12月(4回)	高等部	10人	
⑥ 子ども映画上映会	9月8日(日) 3月16日(日)	子ども 大人 子ども 大人	20人 16人 37人 25人	
⑦ 子ども図書館員体験講座	9月21日～22日 (土・日)	子ども	5人	
⑧ 英語で楽しむおはなし会	11月17日(日)	子ども 大人	32人 20人	
⑨ クリスマスおはなし会	12月22日(日)	子ども 大人	24人 18人	
⑩ 節分おはなし会&ミニワークショップ	2月2日(日)	子ども 大人	14人 13人	
⑪ 企画展示及び特集展示、本の福袋	毎月、1月			
⑫ 読書通帳の配布	通年			
⑬ 赤ちゃん向け「おすすめ絵本」リスト作成・配布				
⑭ 高知みらい科学館モバイルミュージアム展示	年4回			
⑮ 子育て支援課連携SNSで本の紹介	毎週1回(乳幼児、保護者、妊婦)			
⑯ 連携事業(出張おはなし会、本の譲渡会) ▶「図書館in天神橋アーケード」 ▶「おまち中村超得スタンプラリー」	5月3日(金) 11月30日(土)	親子 市民	60人 100人	
⑰ 出張読み聞かせ ▶保育所 ▶小学校読書祭り ▶幡多青少年の家 ▶未就学児「ぼっぼ」(0～2歳児、3歳児、妊婦対象)	随時 随時 11月 隔月	16か所 2か所 2回 5回	28回 2回	
(2) ヤングアダルト向けサービス (本館)		実施日	参加人数	
① 高校生読書ボランティア養成講座	6月～12月	登録14人	5回	
② 図書館×ボードゲーム	8月3日(土)	子ども3人		
③ 新年あいさつポスター	1月	高校生書道部		
④ 企画展示(月間テーマ、特集)	毎月・随時			
⑤ 中高生新聞、英語新聞の活用	毎月			
⑥ 地域資料の活用				
⑦ ティーンズノート、メッセージボード設置				
⑧ 高校生読書ボランティア研修の実践	随時			
(3) 一般向けサービス (本館)		実施日	参加人数	
① 映画上映会	4月6日(土) 11月10日(日) 2月22日(土)	大人 大人 大人	34人 2人 3人	
② 縫わずにできるがま口ワークショップ	6月15日(土)	大人	10人	
③ バリアフリー映画上映会	7月13日(土)	大人	20人	
④ はじめての資産運用セミナー	1月25日(土)	大人	11人	

⑤ 企画展示及び特集展示、ブックリスト作成、本の福袋	毎月、随時、1月	
⑥ 俳句ポスト	毎月	
⑦ 雑誌・図書リサイクル	毎月	
⑧ まちかど図書館	毎月	
⑨ 連携事業「地元FM放送局 はたらんど」	通年	図書館情報のアナウンス

(4) 学校図書館サービス

① 学校図書館担当者及び支援員の会
② 学校図書館担当者ブロック別研修会
③ 学校図書館支援員向け研修会

(5) 西土佐分館のサービス

	実施日	参加人数
① エコたわしを作ろう	5月26日(日)	大人 8人
② 星座と遊ぼう!	6月30日(日)	※講師体調不良のため中止
③ 分館10周年記念	7月15日(月)	
④ 木工教室	7月20日(土)	大人 12人
⑤ 映画上映会	▶ 子ども向け	8月10日(土) 子ども 4人
	▶ 一般向け	大人 9人
		1月25日(土) 大人 11人
⑥ ツボのおはなし	9月21日(土)	大人 10人
⑦ ハロウィンライトをつくろう	10月19日(土)	子ども 8人
		大人 3人
⑧ ハンドクリーム講座	11月2日(土)	大人 10人
⑨ クリスマス会	12月22日(日)	子ども 10人
		大人 4人
⑩ ボードゲームであそぼう	2月23日(日)	子ども 7人
		大人 1人
⑪ しまんと新聞ばっぐ作り	3月23日(日)	大人 7人
⑫ 企画展示及び特集展示、ブックリスト作成、本の福袋	毎月、随時、1月	
⑬ 高知みらい科学館モバイルミュージアム展示	年4回	
⑭ 俳句ポスト	毎月	
⑮ 図書・雑誌リサイクル	毎月	
⑯ 地元高校生ボランティアとの連携	児童行事開催時	
⑰ 連携事業(出張おはなし会、本の譲渡会、朗読)		
▶ 「道の駅 あゆフェス」	6月9日(日)	市民 40人
▶ 「西土佐文化祭」	12月1日(日)	市民 100人
⑱ 出張読み聞かせ		
▶ 川崎保育所	毎月1回	園児 552人 (10回)
▶ 未就学児対象(ぴよっこくらぶ)	毎月1回	乳児 9人 (10回)
▶ 小学校	毎月2回	児童 117人 (14回)
▶ 中学校	毎月1回	生徒 414人 (8回)

(6) 障がい者・高齢者向けサービス

① バリアフリー映画上映会
② 耳マーク、筆談ボード、拡大鏡読書機(本館)、杖ホルダー、リーディングループ、リーディングトラッカーの設置
③ バリアフリー資料の充実

9 施設利用サービス等

(1) 無料Wi-Fiサービス

(2) 蓋つき飲料水の摂取可能

(3) 書籍消毒器ブックシャワーの設置(本館)

(4) クーリングシェルター

(5) 利用者アンケートの実施(WEB版・用紙版)

IV 四万十市立図書館運営方針

〈基本方針〉

生涯学習を支援する機関として、指定管理者との連携のもと市民の求める資料の収集に努め、図書館サービスの充実を図ります。また、「子ども読書活動」を推進し、本好きな子どもの育成に努めます。

○ 運営方針

読書で育てる豊かな心
読書で磨く豊かな教養
読書で満たす豊かな人生



- ・ 県立図書館や学校等との連携
- ・ 図書館と家庭等との協働
- ・ 図書館とボランティアとの連携

《重点施策》

- 1 効果的な資料の収集と提供
- 2 全市民への図書館サービスの充実
- 3 子ども読書活動の推進
- 4 利用率の引き上げ
- 5 指定管理者による事業展開

（具体的方策）

- 1 効果的な資料の収集と提供
 - （1）参考図書（一般教養程度）の充実に努めます。
 - （2）行政資料（パンフレット・読本等）の収集に努めます。
 - （3）郷土資料・地震・水害資料等の収集に努めます。
 - （4）県立図書館や他市町村の図書館との連携により、効果的な図書等の提供に努めます。
- 2 全市民への図書館サービスの充実
 - （1）大活字本（高齢者・弱視者への対応）やDVD等視聴覚資料の積極的収集に努めます。
 - （2）来館が難しい方への対応として、地域の集会所等への配送サービスや団体貸出を拡充します。
 - （3）リクエストによる図書の購入など、より市民ニーズにあった図書を確保します。
 - （4）さまざまな分野や各世代向けの図書の確保を図ります。

(5) 巡回文庫や団体貸出の充実に努めます。

3 子ども読書活動の推進

(1) 「第三次四万十市子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもの発達段階に応じた読書活動の機会の充実のため、関係機関と連携を図り、更なる子ども読書活動の推進と普及に努めます。

(2) 誰もが自分にあった形で読書を楽しみながら、様々な情報資源の中から必要となる情報を読み取り、活用することができるように取り組みます。

(3) 「子ども読書の日」（4月23日）のPRに努めます。

(4) 乳幼児・児童・生徒の読書（ブックスタート・絵本を親しむイベント）や絵本の読み聞かせを推進するとともに、これから子育てを始める妊婦に対する啓発も行います。

(5) 読み聞かせボランティアの育成を図ります。

4 利用率の引き上げ

(1) 意見投書箱や利用者アンケート等を通じて利用者の要望などを把握・分析し、利用者の声をできるだけ反映させることにより、利用率の向上を図ります。

(2) インターネットによる図書検索や予約システムなどのPRに努めます。

(3) 多彩な雑誌の積極的収集に努めます。

(4) DVD等多様な視聴覚資料の収集に努めます。

(5) ホームページを活用し、図書館情報の提供・充実に努めます。

5 指定管理者による事業展開

市の方針に沿って指定管理者による事業を展開し、サービス向上をめざして図書館運営を行います。

(指定管理者の事業基本方針)

「四万十市の自然・歴史・文化を保存・発信し、市民の活動による四万十市の新たなきらめきを創出する図書館」を目指す図書館像とし、以下の6つをサービスの方針として事業を展開します。

(1) 市民が集い、学び、憩う図書館を目指します

(2) 学校等と連携し、子どもたちの「生きる力」を育てます

(3) 市民や地域の課題解決を支援します

(4) 地域と連携した様々な事業を展開し、市民の知的好奇心を喚起します

(5) 四万十市の文化・歴史・自然を保存・発信し、市民の地域への愛情を高めます

(6) 郷土四万十川コーナーを拡充し、地域と連携して四万十川を題材にした事業を行うなど特色のある図書館づくりを目指します

V 令和7年度 予算

(単位：千円)

科 目	本年度	前年度	比 較	本年度の財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
図書館費	65,024	63,917	1,107	0	0	0	65,024

図書館費（内訳）

(単位：千円)

節	金 額	説 明
報 酬	55	図書館協議会委員 40 子ども読書活動推進委員 15
旅 費	10	費用弁償 10
需 用 費	468	印刷製本費 330 燃料費 43 修繕費 95
役 務 費	207	電話料 145 自賠責保険料 18 読書ボランティア傷害保険料 44
委 託 料	61,368	管理運営委託料 60,813 図書館管理運営システム保守委託料 555
使 用 料 及 び 賃 借 料	2,860	図書館システム使用料 1,842 図書データベース使用料 290 図書館システム用端末借上料 728
負 担 金 補 助 及 び 交 付 金	47	日本図書館協会負担金 37 高知県図書館協会負担金 10
公 課 費	9	自動車重量税 9
合 計	65,024	

[参考]

図書館資料費決算額推移

* 資料費(R 7予算)	11,306 千円	(対前年比 99.2 %)
(うち図書費	8,610 千円	新聞・雑誌 2,146 千円 DVD・CD等 550 千円)
* 資料費(R 6)	11,392 千円	(対前年比 100.7 %)
(うち図書費	8,435 千円	新聞・雑誌 2,366 千円 DVD・CD等 591 千円)
* 資料費(R 5)	11,316 千円	(対前年比 99.5 %)
(うち図書費	8,589 千円	新聞・雑誌 2,250 千円 DVD・CD等 477 千円)
* 資料費(R 4)	11,375 千円	(対前年比 99.5 %)
(うち図書費	8,615 千円	新聞・雑誌 2,199 千円 DVD・CD等 561 千円)
* 資料費(R 3)	11,430 千円	(対前年比 100.8 %)
(うち図書費	8,785 千円	新聞・雑誌 2,125 千円 DVD・CD等 520 千円)

VI 資 料

図書館沿革

- 1) 幡多文庫時代
明治 39 年 4 月 幡多郡教育会の創設した「幡多文庫」を中村小学校内に設置する。
- 2) 幡多図書館時代
大正 4 年 4 月 「幡多文庫」を「幡多図書館」と改称、旧塩務局跡へ移転する。
- 3) 中村町立図書館時代
大正 13 年 4 月 中村町は、幡多教育会より図書館の寄附を受け、「中村町立図書館」とする。

昭和 4 年 2 月 優良図書館として文部省より表彰される。
昭和 10 年 8 月 大洪水のため図書多数被害を受ける。
昭和 19 年 1 月 NHK中村中継放送所を開設するため館舎を譲り、休業中の町営公益質屋倉庫(現小姓町)へ移転する。

昭和 21 年 12 月 南海大震災のため、仮館舎(町営公益質屋倉庫)が倒壊して蔵書は大被害を受ける。以後休館する。

昭和 23 年 4 月 町営本町寮二階(現本町3丁目)を仮館舎として再開する。
12 月 警防団屯所を小姓町(現裁判所前)に移転し、その階上を図書館とする。
- 4) 中村市立図書館時代 ①
昭和 29 年 3 月 市制施行とともに「中村市立図書館」となる。
昭和 30 年 1 月 公民館分館へ巡回文庫を開始する。
12 月 警防団屯所が移転したので、階下に子供読書室を開設する。
昭和 31 年 1 月 開架式閲覧方式を開始する。
4 月 蔵書目録を作成する。
9 月 NHK中村中継放送所の移転により、もとの館舎へ復帰する。
昭和 32 年 2 月 読書グループへの貸出文庫を開始する。
昭和 33 年 4 月 日曜日開館を廃止して、夜間開館(月水金、午後6時～9時)を開始する。
「増加図書目録」を発行開始する。

昭和 34 年 12 月 中筋地区(有岡)へ配本所を設置する。
昭和 35 年 1 月 子供分室を前館舎(警防団屯所)階上に開設する。
昭和 37 年 8 月 富山地区(大用)へ配本所を設置する。
昭和 38 年 11 月 大川筋地区(川登)へ配本所を設置する。
昭和 41 年 11 月 小・中学校読書感想文コンクールを開始する。
- 5) 中村市立図書館時代 ②
昭和 44 年 9 月 中村市大橋通4-10へ、新館落成する。
11 月 「中村市史」(正編)出版する。
昭和 45 年 4 月 郷土資料展示室を開室する。
5 月 母と子の読書室での紙芝居、読み聞かせを開始する。
10 月 貸出方式をブラウン式にかえる。
複写サービスを開始する。
第3回高知県図書館大会を開催する。
昭和 46 年 4 月 視聴覚室を開設する。
昭和 49 年 10 月 「幡多史料を語る会」の発足により事務局となる。
昭和 50 年 4 月 坂本清馬蔵書、寄託される。
昭和 51 年 5 月 視力障害者用テープ作成開始する。(現在はボランティア組織で作成)
昭和 54 年 5 月 市内保育所に絵本の貸出文庫を開始する。
昭和 57 年 10 月 身体障害者閲覧(連絡)室を開設する。(その後、新聞閲覧・電話帳室に変更)
昭和 58 年 1 月 「幡多史料を語る会」第100回を開催する。
昭和 59 年 4 月 「中村市史」続編を出版する。
昭和 62 年 3 月 浜田文庫開設(浜田初広氏蔵書)。
6 月 冷暖房設備設置。
7 月 坂本文庫開設(坂本清馬氏蔵書)。
昭和 63 年 8 月 福山文庫開設。

平成 3 年 9 月 第1、3日曜日午前中(9時～12時)開館を開始する。
平成 4 年 3 月 大野文庫開設(大野関夫氏寄贈による)。
7 月 こりす文庫開設。
11 月 国際ソロプチミスト幡多文庫開設(以後、毎年大活字本の寄贈を受ける)。

平成 5 年	7 月	図書館広報「図書館だより」(隔月)を発行開始する。
平成 6 年	2 月	田中文庫開設(田中一氏蔵書)。
	4 月	幡多郷土資料館を所管する。
平成 9 年	6 月	県立図書館自動車文庫の利用、貸出を開始する。(四万十市合併後、終了)
平成 10 年	4 月	毎週土・日曜日を開館し、月曜日を休館日とする。 開館時間を10時から18時とする。(それまでは9時開館) 「朝の読書」の取り組みを始める。
平成 11 年	4 月	貸出券作成対象者を幼児から0歳児まで拡大する。
	5 月	2階書庫を移動式書架にする。
平成 14 年	9 月	1歳9か月健康診査時にブックスタート事業を開始する。(県補助事業：3年間で終了。その後、市単独)
平成 16 年	11 月	雑誌の館外貸出禁止期間を1週間に統一する。

6) 四万十市立図書館時代 ①

平成 17 年	4 月	四万十市発足により『四万十市立図書館』となる。 開館時間を朝9時とする。
	10 月	第33回高知県図書館大会を開催(於：サンリバー四万十)する。
平成 18 年	4 月	蔵書目録の電子化に取り掛かる(データ整理、TRCマークへ)。
	6 月	巡回文庫を西土佐地域に拡大する。
	7 月	個人貸出限度冊数を変更(5冊⇒10冊)。
平成 19 年	4 月	図書館だよりを月刊で復刊する。
	8 月	蔵書目録電子化事業に関連して、TRCに購入先を一本化する。
平成 20 年	8 月	新図書館(新市庁舎)建設に着手する。
平成 21 年	12 月	図書館システム納入業者決定する。
平成 22 年	3 月	新市庁舎完成(2階部分が新図書館)。 図書館(旧館舎)での貸出終了する。
	4 月	新館への引越作業のため休館する。
	5 月	図書館(旧館舎)解体。

7) 四万十市立図書館時代 ②

平成 22 年	7 月	図書館新館オープン。 管理運営システム稼働。
平成 23 年	1 月	幸徳秋水刑死100周年記念事業の一環として冊子『幸徳秋水』を発行する。
	9 月	「幸徳秋水特別展 伝次郎から秋水へ」を開催する(9月10日～9月25日、中央公民館)。
平成 24 年	3 月	「中村の100年写真展」を開催する(3月29日～4月8日、中央公民館)。
	4 月	子ども読書活動優良実践図書館として、文部科学大臣表彰を受ける。
	11 月	「四万十市子ども読書活動推進計画」を策定する。
平成 25 年	3 月	「中村の100年写真展パート2」を開催する(3月27日～4月7日、中央公民館)。
平成 26 年	5 月	指定管理者制度導入検討開始。
平成 26 年	7 月	西土佐分館移転オープン。
平成 26 年	8 月	「中村の100年写真展 総集編」を開催する(8月7日～8月15日、中央公民館)。
平成 27 年	3 月	四万十市立図書館協議会から、指定管理者制度導入を可とする答申が出る。
	9 月	指定管理者募集。

8) 四万十市立図書館時代 ③

平成 28 年	4 月	株式会社図書館流通センターが図書館指定管理者となる。 毎週月曜日・祝日を閉館とする。 本館の開館時間を19時までとし、1時間延長する。
平成 28 年	10 月	雑誌最新号の館外貸出を禁止とする。 (季刊については、登録後1か月間禁止とする。)
平成 29 年	5 月	雑誌の貸出期間を1週間から2週間とする。
令和 2 年	3 月	新型コロナウイルスの流行により64日間臨時休館とする。
令和 3 年	9 月	本館、無料Wi-Fiサービスを開始。
令和 5 年	2 月	分館、無料Wi-Fiサービスを開始。
令和 6 年	6 月	蓋つき容器飲料水の摂取を可能とする。

== 参考 == 図書館サービス実績 (指 標)

区 分		R6	R5	R4	R3	R2
1. 登録率	$\frac{\text{登録者数(市内)}}{\text{人口}} (\%)$	14.10 (11.92)	13.80 (11.76)	13.30 (11.45)	13.33 (12.06)	13.70 (11.81)
2. 市民1人当り貸出点数	$\frac{\text{貸出冊数}}{\text{人口}} (\text{冊})$	4.49	4.36	4.25	4.41	3.88
3. 登録者1人当り貸出点数	$\frac{\text{貸出冊数}}{\text{登録者数}} (\text{冊})$	31.83	31.57	31.97	32.56	28.29
4. 1日当り貸出点数	$\frac{\text{貸出冊数}}{\text{開館日数}} (\text{冊})$	408.36	402.83	399.36	418.34	426.58
5. 蔵書回転率	$\frac{\text{貸出冊数}}{\text{蔵書数}} (\text{回})$	0.79	0.77	0.80	0.85	0.77
6. 市民1人当り図書増加冊数	$\frac{\text{年間増加冊数}}{\text{人口}} (\text{冊})$	0.03	0.09	0.07	0.10	0.11
7. 登録者1人当り図書増加冊数	$\frac{\text{年間増加冊数}}{\text{登録者数(市内)}} (\text{冊})$	0.20 (0.24)	0.67 (0.78)	0.51 (0.59)	0.77 (0.87)	1.26 (0.81)
8. 市民1人当り蔵書数	$\frac{\text{蔵書数}}{\text{人口}} (\text{冊})$	5.66	5.54	5.35	5.21	5.05
9. 市民1人当り図書資料費 (予算)	$\frac{\text{図書資料費(年)}}{\text{人口}} (\text{円})$	363.47	357.65	350.85	346.25	342.22
10. 市の人口 (4/1現在)	(人)	31,106	31,612	32,225	32,653	33,020
		R6	R5	R4	R3	R2